

平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 アールビバン株式会社

コード番号 7523 URL <http://www.artvivant.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 岩本 一也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長

(氏名) 樋口 弘司

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日

TEL 03-5783-7171

平成27年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	2,930	1.0	473	8.0	493	△2.7	445	41.1
27年3月期第2四半期	2,902	1.2	438	△18.1	507	△10.7	315	△6.8

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 458百万円 (52.7%) 27年3月期第2四半期 300百万円 (△16.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	34.05	—
27年3月期第2四半期	24.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	20,561	13,408	65.2	1,025.36
27年3月期	20,406	13,342	65.4	1,020.26

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 13,408百万円 27年3月期 13,342百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	5.00	—	30.00	35.00
28年3月期	—	15.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 27年3月期期末配当金(1株当たり配当金)の内訳: 普通配当5円00銭 記念配当25円00銭 合計30円00銭
 28年3月期中間配当金(1株当たり配当金)の内訳: 普通配当5円00銭 特別配当10円00銭 合計15円00銭
 28年3月期期末配当金(1株当たり配当金)の内訳: 普通配当5円00銭 特別配当10円00銭 合計15円00銭

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,100	7.0	920	22.3	930	△4.3	700	38.3	53.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期2Q	15,463,816 株	27年3月期	15,463,816 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期2Q	2,386,612 株	27年3月期	2,386,612 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	13,077,204 株	27年3月期2Q	13,077,204 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国経済の減速懸念などを背景に輸出の減少や株価下落による消費マインドの低下、設備投資の減少、在庫調整などがあったものの、堅調な企業収益や人手不足に伴う所得雇用環境の改善などにより緩やかな回復基調が続いております。

このような状況の下、当社グループでは、第32期は年度方針として「第二創業への第一歩」を掲げ、中長期的な視点に基づき、人材、組織など中長期的な成長に向けた経営基盤固めを実践するとともに、「アート関連事業」において、新規顧客の開拓及び過去にとらわれず新たな収益基盤の創造にチャレンジしてまいりました。

また、引き続き、「絵のある豊かな生活（くらし）」によって、一人でも多くのお客様に夢や希望を感じていただけるよう営業活動を推進し、基幹の「アート事業」を中心に営業展開を行うとともに、組織の効率化、コスト削減に努め、収益力の改善に努めてまいりました。

加えて、平成27年10月23日付「特別利益の計上、業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」にてお知らせいたしましたとおり、和解金の一部の入金がありましたので、196百万円を特別利益に計上いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,930百万円（前年同四半期比1.0%増）、営業利益473百万円（同8.0%増）、経常利益493百万円（同2.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益445百万円（同41.1%増）となりました。

事業の種類別セグメント業績は、次のとおりであります。

◆アート関連事業

当社グループの主力事業である絵画等販売事業におきましては、引き続き、新規顧客獲得に主眼をおいた営業活動に注力をし、また、イラスト系グッズ販売におきましては、グッズ専門店やグッズ通販サイトの運営を強化し、新規顧客の獲得及び取扱アーティストのブランド化や新作家開発に努め、版画の売上拡大につなげてまいりました。

しかしながら、版画売上において出荷が前期を下回ったことやグッズ事業が低調に推移したことにより売上高は1,871百万円（同3.0%減）となり、同要因及びグッズ事業の滞留在庫が増加したことにより営業利益は134百万円（同35.3%減）となりました。

◆金融サービス事業

金融サービス事業におきましては、当社及びその他一般加盟店の顧客に対する個別信用購入斡旋事業を中心に取り組み、一般加盟店の顧客の取扱高が好調に推移いたしました。

この結果、売上高は470百万円（同22.9%増）、営業利益は264百万円（同28.6%増）となりました。

◆リゾート事業

「タラササ摩ホテル&リゾート」におきまして、本来の強みである「タラソテラピー」を軸に商品展開・営業活動を行い、本格的なタラソテラピーセンターとして、リピーター率の高い施設を目指して運営をいたしました。

しかしながら、プライダルの売上が前年を下回ったことにより売上高は357百万円（同7.2%減）となったものの、コスト削減により営業損失は12百万円となり前年同四半期より営業損失は縮小いたしました（前年同四半期は19百万円の営業損失）。

◆健康産業事業

フィットネスクラブ「カルナ フィットネス&スパ 柏」におきまして、引き続き、ホスピタリティ精神を大切に質の高いサービスの提供及び新規会員の獲得数アップと既存会員の退会防止、客単価の上昇に主眼をおいた営業活動を推し進めてまいりました。

この結果、売上高は241百万円（前年同四半期比12.1%増）となり、営業利益は35百万円（前年同四半期は2百万円の営業利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は18,875百万円となり、前連結会計年度末に比べ160百万円増加いたしました。これは主に、借入金の返済や剰余金の配当等に伴い現金及び預金が645百万円減少したものの、個別信用購入斡旋事業における取扱高の増加に伴い受取手形及び売掛金が897百万円増加したことによるものであります。固定資産は1,685百万円となり、前連結会計年度末に比べ4百万円減少いたしました。

この結果、総資産は20,561百万円となり、前連結会計年度末に比べ155百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は6,507百万円となり、前連結会計年度末に比べ136百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が446百万円減少したものの、割賦利益繰延が208百万円、前受金が179百万円、未払法人税等が104百万円増加したことによるものであります。固定負債は645百万円となり、前連結会計年度末に比べ47百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が50百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は7,153百万円となり、前連結会計年度末に比べ88百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は13,408百万円となり、前連結会計年度末に比べ66百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が52百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は65.2%（前連結会計年度末は65.4%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月14日に公表しました通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日別途公表しております「特別利益の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,505,034	3,859,102
受取手形及び売掛金	8,581,429	9,478,431
営業貸付金	629,705	649,954
商品及び製品	3,777,818	3,511,054
仕掛品	8,805	24,168
原材料及び貯蔵品	33,812	41,142
前払費用	72,911	89,660
繰延税金資産	952,322	936,910
その他	337,787	461,891
貸倒引当金	△183,949	△176,337
流動資産合計	18,715,676	18,875,978
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,396,263	1,405,457
減価償却累計額	△1,102,082	△1,114,437
建物及び構築物（純額）	294,180	291,019
土地	227,722	227,722
リース資産	12,378	12,378
減価償却累計額	△4,813	△6,051
リース資産（純額）	7,564	6,326
建設仮勘定	28,270	—
その他	347,917	358,932
減価償却累計額	△300,421	△310,321
その他（純額）	47,496	48,610
有形固定資産合計	605,233	573,678
無形固定資産		
その他	21,913	60,323
無形固定資産合計	21,913	60,323
投資その他の資産		
投資有価証券	375,055	368,537
敷金及び保証金	193,132	192,898
繰延税金資産	282,262	271,797
その他	273,784	276,485
貸倒引当金	△60,544	△57,822
投資その他の資産合計	1,063,691	1,051,896
固定資産合計	1,690,838	1,685,899
資産合計	20,406,514	20,561,878

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	292,233	359,331
短期借入金	2,395,000	1,948,218
未払法人税等	130,598	235,281
前受金	903,790	1,083,029
割賦利益繰延	2,025,592	2,234,322
賞与引当金	55,190	59,973
返品調整引当金	14,372	16,299
その他	554,055	570,752
流動負債合計	6,370,832	6,507,208
固定負債		
長期借入金	450,000	400,000
リース債務	8,048	6,737
退職給付に係る負債	106,412	108,708
資産除去債務	127,017	128,356
その他	2,040	2,040
固定負債合計	693,518	645,842
負債合計	7,064,350	7,153,051
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,656,000	1,656,000
資本剰余金	6,706,301	6,706,301
利益剰余金	6,240,741	6,293,660
自己株式	△1,328,892	△1,328,892
株主資本合計	13,274,151	13,327,070
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	109,075	119,846
退職給付に係る調整累計額	△41,063	△38,090
その他の包括利益累計額合計	68,012	81,756
純資産合計	13,342,164	13,408,827
負債純資産合計	20,406,514	20,561,878

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	2,902,466	2,930,516
売上原価	1,167,817	1,144,878
売上総利益	1,734,648	1,785,638
販売費及び一般管理費	1,296,474	1,312,597
営業利益	438,174	473,041
営業外収益		
受取利息	404	1,837
受取配当金	2,907	3,310
貸倒引当金戻入額	—	10,324
為替差益	46,694	—
投資事業組合運用益	11,746	874
その他	9,844	10,122
営業外収益合計	71,596	26,469
営業外費用		
支払利息	921	4,642
為替差損	—	226
その他	1,278	840
営業外費用合計	2,199	5,709
経常利益	507,571	493,800
特別利益		
受取和解金	—	196,134
特別利益合計	—	196,134
特別損失		
店舗閉鎖損失	—	1,886
減損損失	579	672
投資有価証券評価損	—	1,078
ゴルフ会員権評価損	6,490	—
特別損失合計	7,070	3,636
税金等調整前四半期純利益	500,501	686,298
法人税、住民税及び事業税	147,916	216,953
法人税等調整額	36,936	24,109
法人税等合計	184,853	241,063
四半期純利益	315,647	445,234
親会社株主に帰属する四半期純利益	315,647	445,234

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	315,647	445,234
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17,941	10,771
退職給付に係る調整額	2,841	2,973
その他の包括利益合計	△15,099	13,744
四半期包括利益	300,547	458,979
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	300,547	458,979
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	アート関連 事業	金融サー ビス事業	リゾート 事業	健康産業 事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	1,929,448	378,258	378,908	215,850	2,902,466	—	2,902,466
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	50	4,445	6,943	—	11,439	△11,439	—
計	1,929,498	382,703	385,852	215,850	2,913,905	△11,439	2,902,466
セグメント利益 又は損失(△)	208,701	205,411	△19,175	2,988	397,926	40,247	438,174

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額40,247千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「健康産業事業」において、営業活動から生じる損益が継続してマイナスである資産グループについて、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しました。当該事業による当第2四半期連結累計期間の減損損失の計上額は579千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	アート関連 事業	金融サー ビス事業	リゾート 事業	健康産業 事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	1,871,402	465,606	351,637	241,870	2,930,516	—	2,930,516
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	4,774	6,246	—	11,021	△11,021	—
計	1,871,402	470,380	357,883	241,870	2,941,538	△11,021	2,930,516
セグメント利益 又は損失(△)	134,935	264,167	△12,700	35,051	421,453	51,587	473,041

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額51,587千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「リゾート事業」において、営業活動から生じる損益が継続してマイナスである資産グループについて、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しました。当該事業による当第2四半期連結累計期間の減損損失の計上額は672千円であります。